



東長崎

—ひがながプライド—

HIGANAGA PRIDE

PRIDE

HIGASHI NAGASAKI JHS

自ら誇りと自信を持ち、率先して行動する

長崎市立東長崎中学校
学校だより 第11号
令和6年9月13日発行
副校長 宮崎国広

HIGANAGA フォーラム

台風10号接近のため、8月29日(木)に予定していた、HIGANAGA フォーラムを、多くの保護者・来賓の方に参観いただき、9月3日(火)に開催することができました。ご参加いただいた保護者・来賓の皆様、生徒の学びのためにご協力いただいた地域の方々、本当にありがとうございました。

本校では、令和4年度より、
学習指導要領にある「探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行う」
学校教育目標である「自主的に判断し、行動できるとともに、他者との関わりを大切にして協働できる生徒の育成」を目指して

○3年間を通して段階的に学習を深める系統的な学習の実践

○SDGsを絡めた地域に根差した学習活動

を行ってきました。そして、その学習時間を「ひがながタイム」と呼び

1年生では、SDGs（イデイズ・ズ）について知る。

2年生では、SDGs（イデイズ・ズ）と私たちの関わりについて考える。

3年生では、SDGs（イデイズ・ズ）と私たちの地域や社会の未来について考えて行動・発信する。

というテーマに沿って、学年ごと段階的に、学習を進めています。

そして、「HIGANAGA フォーラム」として、3年生がこの3年間の学びの成果と学びの深まりを発信しています。今年は、下記5コースに分かれ学習に取り組みました。

① 表現活動コース

台風10号接近による臨時休業のため、予定していたステージ発表を映像発表に変え発信しました。



SDGsの「誰一人取り残さない」

という理念から、コースのテーマを「多様性」として学習を進め、「劇」「ダンス」「CM制作」を通してテーマである「多様性」を表現しました。それぞれの表現には、我々へのメッセージが込められており、より一層私たちの地域や社会の未来について考えを深められました。

② 自然環境コース

東長崎地区の八郎川と現川の水質環境調査と、浄水場・下水処理場の施設見学を行い、水とごみのことからSDGsの



多くの目標の関連性に気づき、考えが深められました。フォーラムでは、クイズを取り入れた楽しい発信を行い、私たちにできること、私たちの町東長崎地区でできることを提案しました。仲間と意見を出し合い、ぶつけ合いながら考えをまとめ、自分たちの住む町の環境の豊かさ、自分たちの住む町の環境を守ることの大切さに気づき、考えを深めました。

③ 共生・福祉コース

「バリアフリー班」と「ボランティア班」に分かれ、学校、東長崎地区の公共施設や地域密着型通所介護施設、東工場を訪れ、調査・体験活動を行いました。SDGsの目標である「③すべての人に健康と福祉を」「⑪住み続けられるまちづくりを」「⑫つくる責任つかう責任」の視点について考えを深めました。ボランティア班では、再生エネルギーの重要性やペットボトルキャップ 800 個が一人分のワクチンとなることなどを訴え、バリアフリー班では、クイズを取り入れた楽しい発信を行い、各施設のバリアフリーの良いところ改善すべき点をみんなで考えました。また、私はクイズに参加したことにより、介護マスターに認定してもらいました。とても面白く楽しく学ばせてもらい、誰もが生きやすい社会の実現について考えを深めさせてもらいました。



④ イングリッシュコース

SDGsの目標である「⑪住み続けられるまちづくりを」を軸に学校の歴史、東長崎地区の宝を調査・取材しました。ペンギン水族館・ふれあい市・古賀の植木、人形・和菓子など東長崎地区の宝を見つけ、調査し、それらを1冊のパンフレットに英語でまとめました。そしてさらには、松枝ふ頭に着港する客船で、長崎を訪れる海外の方々へ、東長崎地区をPRしてきました。イングリッシュコースのみなさんの活動のおかげで、東長崎地区が海外の人にも広く知られることになりました。英語で発信する姿はとてもクールでした。



⑤ HIGANAGAブランドコース

SDGsの目標である「⑧働きがいも経済成長も」「⑪住み続けられるまちづくりを」の視点で、地元企業のイシマル文行堂さんとコラボしてオリジナルブランドを立ち上げ、ボールペンを商品化し、販売しました。その商品パッケージとチャームは完全オリジナルで東長崎地区をPRするデザインでした。そこまでにたどり着くには、企画部が販売許可をとり、デザイン部がデザインを考え、広報部がポスター作製を行いました。そして観光客も多く訪れる、本市一番の商店街浜の町や本校での販売活動へと進んでいきました。起業、販売の難しさを感じるとともに、働きがいを感じ、未来への可能性も感じた学習となったのではないのでしょうか。また、東長崎地区は、海外のみならず国内から長崎を訪れる観光客にとっても訪れたい町として知られたことだと思います。



「HIGANAGA フォーラム」は、東長崎地区だけではなく市内・県内・国内へ、そして海外へも発信し、3年生の3年間の学びの深まりを感じました。

「私たちの地域や社会の未来について考えて行動・発信する。」というテーマを十分に達成させたとても素晴らしいフォーラムでした。

また、オープニングセレモニーでの、音楽部の「サッカーによせて」「ぼくらは生き物だから」の合唱、生徒会による演舞がこのフォーラムに花を添えてくれました。すばらしい歌声・演舞ありがとうございました。

